

平成16年12月期 第3四半期業績の概況(非連結)

平成 16年 11月 5日

上場会社名 株式会社 長府製作所 (コード番号: 5946 東証第一部)
 (URL <http://www.chofu.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 川 上 康 男 TEL (0832) 48 - 2777
 責任者役職・氏名 代表取締役専務 島 田 実

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無: 有

- ・法人税額の計上基準...法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

2. 16年 12月期第3四半期業績の概況 (平成 16年 1月 1日 ~ 平成 16年 9月 30日)

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年12月期第3四半期	30,514	4.6	3,452	7.6	2,002	0.6
15年12月期第3四半期	29,174	-	3,734	-	1,990	-
(参考) 15年12月期	39,489	1.8	5,030	2.4	2,585	1.9

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
 2. 四半期決算の開示につきましては、当第1四半期より実施しております。平成15年12月期第3四半期についての開示は、当第3四半期と同様の方法により算出したものであります。

(売上高の内訳)

	当第3四半期			前第3四半期		(参考) 前 期	
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
給湯関連機器	14,477	47.5	7.6	13,450	46.1	18,515	46.9
空調関連機器	5,428	17.8	2.8	5,280	18.1	6,796	17.2
システム関連機器	5,030	16.5	3.4	5,208	17.9	6,998	17.7
ソーラー関連機器	1,751	5.7	1.8	1,784	6.1	2,329	5.9
その他	3,826	12.5	10.9	3,451	11.8	4,849	12.3
合 計	30,514	100.0	4.6	29,174	100.0	39,489	100.0

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、世界経済の回復を背景とした輸出の増加や、企業収益の改善による設備投資の回復、さらには、所得・雇用環境の改善による個人消費の緩やかな回復など、景気は概ね堅調に推移してまいりました。

このような状況の中、当社におきましては、環境規制と市場ニーズに対応した製品開発を行うとともに、従来販路の拡充や新規販路の開拓、OEM商品の拡販強化など、積極的な営業活動を行ってまいりました。

売上高を分類別に見ますと、給湯関連機器は、新築住宅着工件数が増加に転じるなか、買換え需要の減少や価格競争の激化により、石油給湯機器、ガス機器の減少はありましたものの、エコキュートが大幅に売上を伸ばし全体で7.6%の増加となりました。空調関連機器は、エアコンで海外向けの売上が好調に推移し、全体で2.8%の増加となりました。その他では、附属部品の売上増により10.9%の増加となりました。

この結果、当第3四半期の売上高は305億14百万円(前年同期比4.6%増)となりましたが、割引率の変更による退職給付費用の負担増などにより、経常利益34億52百万円(前年同期比7.6%減)、四半期純利益20億02百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

特に記載すべき事象はありません。

3. 16年12月期の業績予想（平成16年 1月 1日 ~ 平成16年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	41,500	4,600	2,780

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 77円79銭

当第3四半期は、概ね計画通りに推移しており、現時点では前回公表の通期の業績予想に変更はありません。

*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。